

「米一合運動」の実施にご協力を

現在、笛吹市には被災地から約 200 名の避難者が居住し、東日本大震災から 2 ヶ月が経過した中で、生活物資の確保も難しく物心両面で非常に厳しい生活を送っています。

この運動は避難者が一番必要とする「米」を市民の皆様からご支援いただき、被災者の生活を支援しようというものです。今後、笛吹市役所の本庁舎・各支所・図書館及び市社会福祉協議会で受付の窓口を作り、広く市民の皆様からの支援をお願いすることになります。ご提供いただいた物資については市救援物資支援センターに搬入し、避難者に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

なお、缶詰やレトルト食品、カップ麺など常温保存可能なおかずになる 1 品を添えていただくと助かります。

▼開始日 5月26日(木)から

▼受付時間 午前9時～午後5時 原則 毎週木曜日

▼受付場所 ○市役所本庁舎 1階受付 ○石和保健福祉センター 福祉総務課

○市役所各支所 ○各市立図書館 ○市社会福祉協議会本所 ○市社会福祉協議会各地域事務所

▼持込方法 米1合(湯飲み茶碗1杯)を透明のビニール袋に入れて口を縛って、ご持参ください。

■問合せ先 ・市災害支援対策本部 ☎055 (262) 5211 ・福祉総務課 ☎055 (262) 1271
・市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎055 (265) 5182 (代)

市救援物資支援センターからのお知らせ

▼開所日が変わります

6月から毎週月・水・金曜日の午前9時から正午までの開設になります。

○救援物資の募集

- ・食料品(米・レトルト食品・缶詰・カップ麺)
- ・日用品(ボックスティッシュペーパー・トイレットペーパー)

※他の物資は受付を休止していますので、ご理解ください。

■救援物資受付場所・問合せ先

笛吹市救援物資支援センター

☎0553 (26) 3512

・笛吹市春日居町寺本136番地
(春日居支所北隣)

笛吹市内における避難者情報

市営住宅・民家等への避難者状況(5月16日現在)

| | | | | | | | | |
|---|------|-----|-----|-----|----|------|------|-----|
| 石和町 | 26世帯 | 72人 | 御坂町 | 2世帯 | 5人 | 一宮町 | 1世帯 | 4人 |
| 八代町 | 8世帯 | 32人 | 境川町 | 3世帯 | 8人 | 春日居町 | 24世帯 | 81人 |
| 合計64世帯 202人(主に福島県南相馬市、いわき市、双葉郡内などの方を受け入れています) | | | | | | | | |

■問合せ先 市災害支援対策本部 ☎055 (262) 5211 (直通)

義援金、支援金のご協力をいただいています

▼義援金(4月27日現在) 8,051,039円

※義援金につきましては、日赤等を通じ被災地へ届けさせていただきます。

▼支援金(4月27日現在) 1,739,372円 ※支援金につきましては、避難してきている方の支援にかかる経費(物資購入、生活援助等)に充てさせていただきます。

今後につきましても、市民の皆様のご支援をお願いします。

■問合せ先 福祉総務課(石和保健福祉センター内) ☎055 (262) 1271

節電にご協力を

これから夏に向けて電力状況が厳しくなることが予想されます。市では、庁舎内の節電対策として「節電実行推進委員会」を設置しました。照明器具の清掃や、蛍光灯の取り外しを実施するほか、緑のカーテンを設置するなど様々な節電対策を行います。市民・各事業所の皆様におかれましても、節電へのご協力をお願いします。

東日本大震災被災地復興支援ボランティア募集

「被災地の復興に向けて直接支援したい」という声を実現するために、笛吹市社会福祉協議会では、次の日程でバスパックを計画しました。多くのボランティアさんの参加をお願いします。ただし、強行スケジュールとなりますので体調管理には十分気をつけて、少しでも不安を感じたら勇気を持ってキャンセルしてください。

▼行先 宮城県東松島市災害ボランティアセンター

▼日程 第1便 5月31日(火) 午後10時出発→6月1日(水) 朝到着後、午前9時～午後3時 ボランティア活動→帰着1日深夜～

第2便 6月3日(金) 午後10時出発→6月4日(土) 朝到着後、午前9時～午後3時 ボランティア活動→帰着4日深夜～ ※第1便で行き第2便で帰る、宿泊組も10名程度募集します。

▼募集人員 第1便20人 第2便30人 ▼自己負担金 6,000円

▼活動内容 津波による水害被災地区でのボランティア(要望聞き取り、泥出し・片付けの作業など)

※申込者には5月27日(金)午後7時から実施される事前説明会に出席していただきます。

■問合せ先 市社会福祉協議会 ☎055(265)5182(代)

感謝の言葉をいただきました

茨城県日立市長よりお礼状が届きました

笛吹市(旧石和町)と茨城県日立市は、古くから「石和鶏飼」の鶏を介し交流があり、今回の大震災で被災した日立市へ3月30日に支援物資を届けたことから榎村日立市長よりお礼状が届きました。

福島県庁職員の方の訪問を受けました



4月27日、笛吹市役所にて福島県庁職員(2名)の方を正副市長以下関係職員で迎え、今回の震災に関しての様々な意見交換をしました。

福島県からは「原発事故のために前に進むことができない状況の中で、福島県民を受け入れてもらっている。市長様はじめ市民の皆様、ボランティアの皆様へ感謝申し上げます。また、福島県としても、県民に戻ってきていただきたいが、全員に対する仮設住宅を整備するには時間がかかる。今は支援をいただきながら復興していきたい」との言葉がありました。

荻野市長は「市では4月27日現在、222人の被災者の方を受け入れている。甚大な災害を受けた場合、自力で立ち直ることはむずかしく、一緒に支える人が必要。出来る限りの様々な支援をしたい」とお答えしたほか、災害被災者宿泊施設受入事業や福島県から市内に居住する避難者への情報提供に関する事など具体的な支援策についてお伝えしました。

御支援いただいた皆様へ

謹啓

陽春の候、皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの東日本大震災に際しましては、心温まる御支援を賜り、誠にありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた御支援は、被災された方々の大きな支えとなり、生きる勇気を与えてくださいました。

本市においては、幸いにも震災により亡くなられた方はおりませんでしたが、一時は全てのライフラインが寸断され、また、多くの家屋が損壊、床上浸水し、学校や道路等の公共施設にも甚大な被害が生じました。

現在日立市では、一日も早く市民生活が安定し、生活再建が推進されるよう、市民、議会、関係団体等と共に力を合わせ、復興に向け全力で取り組んでいるところであります。

このたびお寄せいただいた御厚情に略儀ながら書中をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

謹白

平成23年4月

日立市長 榎村千枝

●発行/2011.5.20 山梨県笛吹市役所 ●編集/経営企画課・広聴広報担当

●所在地/〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地 TEL 055-262-4111

●URL/http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/